

令和4年度学校自己評価システムシート (県立松山女子高等学校)

W04

目指す学校像	社会で活躍する「凛として輝く」女性を育て、地域の期待に応える進学校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 授業研究・改善を進め、主体的に学ぶ力を向上させる。 2 志を高く持たせ、意欲を高め、第一志望の進路実現を図る。 3 学校行事、部活動、委員会等を通じてコミュニケーション能力を高め、自立した女性を育てる。 4 信頼される女子校として、高い生活規律の維持と異校種連携や社会体験等で地域に貢献する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

(コロナ禍のため、書面により実施した。)

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					令 和 4 年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度は概ね良好であり、主体的に学びに向かう態度も少しずつ向上している。生徒が主体的に取り組む力を更に向上させることが大切であり、その評価についての検討や、授業内容や授業方法の改善を推進する必要がある。 BYODも含め、ICTをより効果的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の授業力を向上させ、主体的に学ぶことのできる生徒の割合を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> 相互授業見学(公開授業や研究授業)などを通して自らの授業を顧みるとともに、生徒どうしの考察や発言の場のある授業展開やICT活用を推進する。 学ぶ力の基盤となる基礎体力を、授業・学校行事・部活動を通して向上させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート結果において、良好な生徒の割合が、「理解度」で85%、「主体的に取り組む態度」で70%を超えることができたか。 新体力テストにおいて、各数値が県平均を超えることができたか。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分自身の進路に対して考える時間や取組は増えている。主体的に進路選択ができる生徒の育成を目指して、自ら問いを立て、分析・解決していく姿勢を育む。自己理解の上で具体的な進路実現に向かえるよう支援体制を強化し、組織的な進路指導を継続させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校3年間を見据えたキャリアプランを考えさせ、自らの興味や関心を理解した上で進路実現に向けて努力させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間」など地域連携での経験を通して生徒の意識啓発を図る。 「特進クラス」の指導を組織的に行い、高い進路目標を実現させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 2学年末の段階で、進路未定の生徒が進路希望を具体的に持ち年度当初よりも減少しているか。 3学年の進路決定者が95%を超えることができたか。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中で、学業と両立させ、部活動や生徒会活動に積極的に関わっている。諸活動を通して主体的に頑張れる生徒を育成したい。コロナ禍ではあるが、新しい生活様式に合わせた活動を生徒を主体として継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や各委員会活動の内容を充実させるとともに、新たな生徒のコミュニケーション能力向上のための場を設定する。 	<ol style="list-style-type: none"> 部活動や各委員会が充実した活動をコロナ禍でも主体的に取り組めるよう、適切指導・助言を行う。 ビブリオバトルや異校種交流、探究活動などを通して、生徒のコミュニケーション能力を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> 部活動の活動内容や成果、各委員会の活動内容が向上したか。 学校生活に不適応な生徒の割合が減少したか。 			
4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は品位ある制服の着こなしや言動等が概ねできており、地域からの信頼も厚い。この生活規律の高さを維持させるとともに主体的に他校や地域社会に関わる生徒を育成する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 高い生活規律の維持に努めさせるとともに、地域に向けて本校の良さを積極的に発信させる。 学校生活や規則について主体的に考える場を設定する。 	<ol style="list-style-type: none"> 各種行事や活動の中で、意見や要望を検討する場を設けることで松女生としてのプライドを持たせて実施させる。 様々な場で本校の良さの発信に努めさせるとともに、学校ホームページやSNSをより充実したものにする。 保護者との連絡体制を整備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 教育活動に関するアンケートの結果から、生徒の意識変容や主体性の向上が見られたか。 学校説明会への参加者数、ホームページの閲覧数などが増加したか。 保護者との連絡体制を整備することができたか。 			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和5年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

